



# 議 会 報 告 第 7 号

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

新しい筑西市を創る会

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一



## 12月定例会より 報告

### 市長発言の主旨

○議会冒頭、慣例の市長発言がありました。最初に新中核病院に触れたことで、市長の一番の関心がこの問題であることがうかがわれます。市民の最大の関心事であり、議会でも多くの質問を受けることが予測されていました。新中核病院に関しては別項にて報告致します。

○次に市民アンケートについて説明がありました。9月に実施したアンケート結果を12月議会に報告できないことに議員からの批判がありこれに応じたものだと思いますが、回答の集計・分析に何故これほど時間がかかるのか十分な説明がありませんでした。2期目の市長選出馬を表明した市長にとって、市民アンケートの回答は重要な意味を持っています。スピカビルのあり方、市役所庁舎のあり方、市民ホールのあり方について、市民の意見が集約されます。次の市長はこれとどう向き合うのか、市民に訴えるべきだと思います。

○25年度予算編成方針は、「選択と集中」と表現しています。歳入に限られる中、取り組むべき課題が山積しており全てに予算を回せないという趣旨です。その通りで重要なことは選択です。市長は9項目を挙げましたが私は  
①地域医療再生 ②産業の振興 ③観光の振興の3つを強調したいと思います。

### 補正予算が承認

電気料金の値上がりにもなう増額予算措置が目立ちました。市全体で約3300万円です。今後は節電に取り組む必要がありそうです。反対に職員人件費が減額となりました。人事院勧告による措置で、55歳以上の昇給が抑制されたためです。その他、主なものは、人・農地プラン事業による約2500万円が予算化されました。

#### 人・農地プラン

農業の担い手や後継者の問題、耕作放棄地の解消や農地の集積など、人と農地の問題を地域の中から考え、地域農業の未来を設計するもの。これを実現するため、農地集積協力金事業を行い、経営転換や分散錯圃（分散した農地を耕作している状況）解消に助成金を交付します。

### 市内総選挙費用 約5000万円

国県から支出されますが、筑西市が此度の総選挙及び国民審査に要した費用は約5000万円でした。約6割が人件費であり4割が備品代・業者への支払です。

\*\*\*\*\*

### 消費税の増税に反対する請願は採択されず

今議会の請願として、消費税増税に反対するものです。私は、国会の審議の進め方に疑問を持っていましたので反対の立場です。確かに国の財政は歳入不足、累積債務は膨大です。誰もこのままで良いとは思っていません。しかし歳出削減策を棚上げにした増税案には納得いきません。この請願は、委員会では是、本会議で否となりました。

### 南中の敷地が更に拡張

長年懸案となっていた駐車場の拡張スペースが確保出来ました。敷地北端県道357沿いの土地です。ご協力頂いた地権者の方にはお礼を申し上げます。

### どうなる新中核病院



前号(6号)で報告致しましたが、新しい枠組み一協和中央病院と市民病院の統合による病院建設は、不確定要素が多く進展が見られません。地元医師会の賛同も得られず建設推進会議が未だに立ちあがっていません。茨城県地域医療再生計画の枠内の進捗が難しくなりました。



## 11万都市一筑西に相応しい市長選を



新年早々、街で政治広報カーに出会いました。吉澤市長の声で、市民の皆様への政治広報が流れていました。市長選の前哨戦です。昨年暮れ押迫って、須藤茂氏が市長選立候補を表明し、記者会見がありました。新たな選挙モードです。一昨年、百目鬼議員が逝去し、市長選の対立候補はいないかと思いましたが、やはり11万都市の市長の改選です、市長選はあってしかるべきです。

今度の選挙の焦点は、地域医療の再生、スピカビルの再生、人口減少対策、企業誘致、教育改革が目立つところです。昨年9月の市民アンケートの集計結果も重要です。公約を高らかに掲げ、政策を競い合い、市民の支援を獲得してほしいものです。ただ市長を目指す、権力を手に入れるためだけの選挙戦はいただけません。旧下館派、旧3町派の覇権争いも御免です。新しい筑西市のため、11万市民のために戦ってほしいものです。

### 一般質問・・・小島信一



質問：市長の次期政権公約について伺います。これまでの4年間は一定の成果がありました。重要課題が残されています。スピカビルと地域医療再生です。スピカビルについては次期公約も民間売却、3支所への分庁化を進めるのですか。

市長：これまでの経過は、売却推進、議会の否決、本庁舎としての利用という議会提案、公共施設のあり方懇談会の賛否両論、市民アンケートの実施。今後は皆様のご意見ご要望とアンケート結果を参考にし、対策を検討します。

質問：アンケートの集計結果によっては、売却せず、3支所への分庁化もせずに民間利用による駅前振興を図る公約もあり得ますか。議会提案とも違う利用法ですが、私がかねてから主張してきた利用法です。

市長：再度議員の皆様を初めとする多くの市民代表の意見を仰ぐ場面が考えられる。新たな選択肢を決定することも可能性としては十分あるのではないかと。

感想：スピカビルの活性化は前市長時代からの懸案です。市長選の論点にしてほしいと思います。

質問：医療圏救急医療体制整備のための新中核病院建設という方向になってから2年が経過します。桜川市との連携から協和中央病院との統合という流れですが、課題が多く進展が見られない。国県の地域医療再生計画は期限があり間に合わない可能性が大きい。ここに至りては、次善策を考えるべきではないか。これまでのプランと同時並行に市民病院単独の再構築も検討する時期ではないのか。国県のプランが挫折してからではあまりに時期を失するし市民の失望が大きい。

市長：市民病院の単独再構築は考えられない。現在は、新たな枠組みとして協和中央病院との統合を目指しているが、関係機関との調整が進まず基本構想に入れられない状況。時限ある再生計画がこの時期に来てまとまっていないということはタイムオーバーに近いものがあるが、県によく相談し力添えを頂きながら取り組んでまいりたい。

感想：今回の答弁では医療再生計画の挫折という懸念が払拭できませんでした。

質問：市民アンケートに小学校の統廃合に関する設問がありました。少子化に伴い1学年1学級の学校が増えています。更にこの先には1学級10人以下ということも現実的です。最早、統合は避けられないという状況ですが、次期公約に小学校の統廃合を謳いますか。

市長：未来を担う子供たちによりよい教育環境を提供していくために、将来を見据えた小学校の適正配置は避けて通れない課題と認識しています。保護者、地元関係者などの意見を十分尊重しつつも、教育環境を最優先に進めてまいりたい。

質問：学校の現場では先生方が、行政トップが決断しなければスタートしないと言っています。次期公約に小中一貫教育を絡めた教育改革を掲げる意思がありますか。

市長：筑西市の義務教育の理想的姿は、6中学校6小学校。また、つくば市では小中一貫が始まり、二宮地区でも検討している状況。教育改革は公約の1つに掲げていかなければならないと認識している。

教育長：統廃合のスタート時期は約10年後、小中一貫はその10年後が理想的。

感想：もっと早急な対応が必要ではないでしょうか。